

大津市へ、どこから来て、どこをめぐり、どこへ向かうのか

大津市（滋賀県県庁所在地）
人口 約34万人（中核市）

日本一の大きさを誇る琵琶湖、比良山や比叡山などの自然に恵まれ、世界文化遺産の比叡山延暦寺をはじめ、三井寺や石山寺などの歴史遺産も有している古都指定都市です。

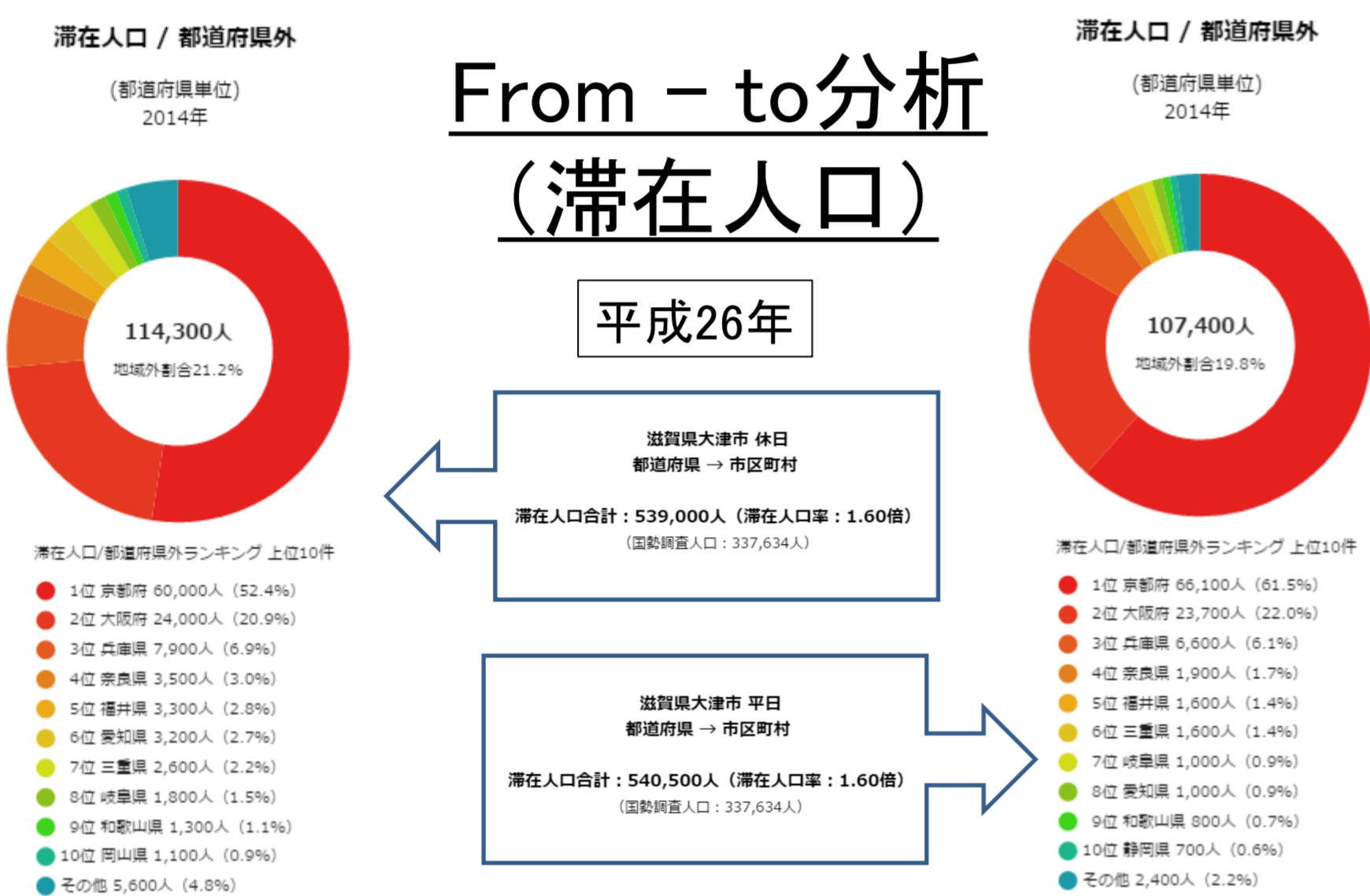


1. はじめに

効果的な観光ルートを把握するためには、大津市にどこから来て、どこをめぐり、どこへ向かうかを知ることが重要である。

RESASを活用した調査を通し、観光動態を分析する手段を探る。

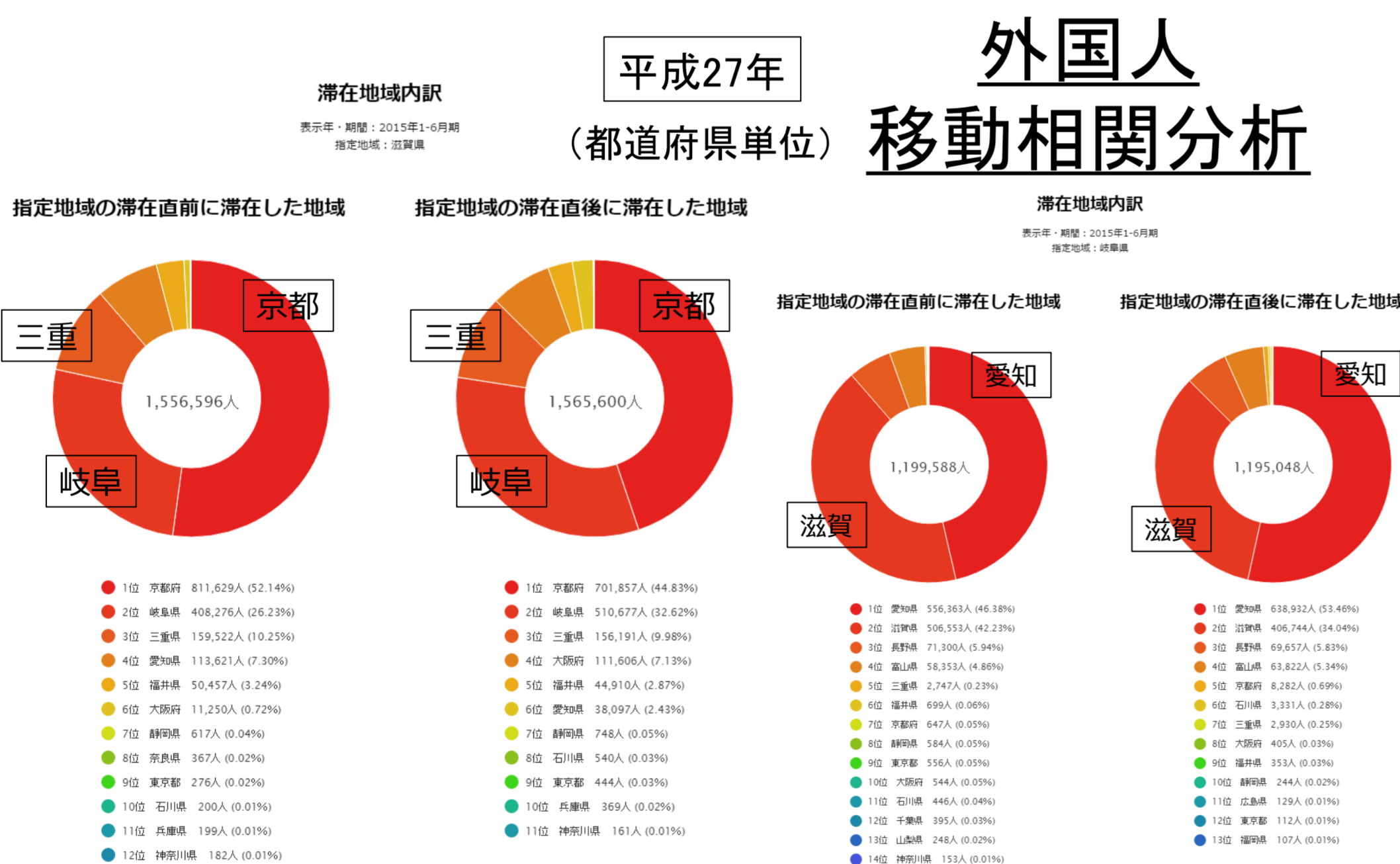
2. RESASの分析結果（国内旅行者）



大津市への訪問者の発地の上位は京都府、大阪府、兵庫県、**奈良県**となっている。訪問後どこへ向かうかの情報はRESASの一般メニューからは確認できない。

※スマートフォンアプリから得られたGPSのログより生成された「流動人口データ」による分析。

3. RESASの分析結果（外国人旅行者）



県単位であるが、外国人観光客の移動ルートの調査が可能である。

京都府に次いで岐阜県の割合が非常に高い。地域を岐阜県に指定した場合も、滋賀県が4割を占める。岐阜県は近年外国人観光客に人気があり、滋賀県⇔岐阜県ルートは重要視できる。

観光所管課では、訪日外国人の動向は宿泊施設からの月次報告の集計に拠るので、市単位では把握できないが有益な情報となる。

4. 観光動態調査の結果（平成26年大津市実施）

大津市来訪者発地者数 平成26年

順位	発地都道府県	来訪者数
-	全体	25,226
1	滋賀県	7,918
2	京都府	7,232
3	大阪府	3,975
4	兵庫県	1,315
5	愛知県	864
-	その他	3,922

順位	発地都道府県	来訪者数
-	全体	24,991
1	滋賀県	8,079
2	京都府	6,638
3	大阪府	3,417
4	兵庫県	1,276
5	愛知県	1,099
-	その他	4,482

7月～9月

10月～12月

滋賀県を除き、発地者の上位は京都府、大阪府、兵庫県、**愛知県**となっている。

※au基地局の位置登録情報による分析。

大津市を9つのエリアに分け、住民や通勤通学を除き、各エリアに30分以上滞在した端末を来訪者としてデータ化する。来訪者の居住地、宿泊地、滞在時間、流出入数、周遊状況などを分析調査。

5. 結果の比較

2と4の国内旅行者の発地調査の結果を比較すると、上位の京都府・大阪府・兵庫県以降の**順位に差異**が見られた。

愛知県は観光動態調査では全体の4%近くになるが、RESASでは平日0.9%休日2.7%の結果となっている。

6. 差異の要因と見解

◆データの取得時期(期間)

◆データの特性

RESASはアプリをインストールしGPS機能をONにしている利用者が対象であり、観光動態調査は基地局の位置登録情報つまり携帯電話(ガラ携・スマートデバイスすべて)の所持者が対象であるため、データの特性が異なる。

位置登録情報のほうが幅広い層からのデータ取得が可能であると考えられる。

7. 今後の展望

観光動態を分析する手段として、携帯の位置登録情報やGPS位置情報以外にも、SNSを活用した分析が注目されている。

ひとつの分析手段に頼るのではなく、複数の手段を用いて多角的な分析を行っていくことで、より精緻な分析が可能となる。

RESASは有益な情報が無償で得られるため、分析の糸口として、積極的に活用していきたい。